

2年次後期・必修

1単位・15時間

【概要・目標】

薬物を臨床応用するための基本的な薬理作用の概念が理解できるようになるために、すべての薬物に共通する生体と薬物の相互作用について学ぶ。

【授業内容・スケジュール】

薬理学総論

- 1) 薬とは？、薬品名
- 2) 薬物の作用点、薬物の投与経路
- 3) 薬物の体内動態・薬効に影響を及ぼす因子
- 4) 薬の相互作用・有害作用、医薬品と法令

薬理学各論（1）

- 5) 抗感染症薬
 - 6) 抗がん薬
 - 7) 免疫治療薬
 - 8) 抗アレルギー薬・抗炎症薬
-

【評価】

試験（75%）、レポート（0%）、小テスト（10%）、発表（0%）、提出物（0%）、出席状況（10%）、参加態度（5%）、その他（0%）

【教科書】

吉岡充弘 他：系統看護学講座「薬理学」医学書院

【推薦参考図書】

加藤隆一：「臨床薬物動態学」南江堂
田中千賀子 他：「NEW 薬理学」南江堂
渡邊裕司 監訳：「臨床薬理学」丸善

【その他】

メールアドレス tomoen@wakayama-med.ac.jp